

空気環境の測定のレポートについて

今回のレポートも、全体として見れば、時間不足で提出した感じがあります。考察の部分へ早く到達し、いろいろと比較を行うなどして、できるかぎりいろいろなことを考えてください。

- 1) 風の流れを測定するのですから、周囲の状況、方位、窓の開き具合とその面積などの情報をきちんと盛り込みましょう。
- 2) 図表を「上手に」利用して、見やすいレポートに仕上げましょう。
- 3) やはり考察の部分が弱いです。レポートの最後まで、見通しを立て、時間を配分し、段取りを考えて、作業を進めましょう。
- 4) 測定値を気温で補正した場合は、「補正值」という言い方が妥当でしょう。本当に「真の値」を計れている保証はどこにもありません。あくまで、測定値とそれに基づく補正值でしかありません。
- 5) 相変わらず、単位を忘れている人がいます。実験レポートの場合、単位がないのは致命的です。
- 6) 風速の分布を描いた図では、負荷室の周辺が比較的大きな風速を示していたようです。なぜでしょうか？それを考えるのが考察です。
- 7) 実験を進めていく中で、もっと他のものも測定したい場合は、どんどん提案してください。いろいろと比較しながら、実験を進めていくと、より面白いレポートになることでしょう。
- 8) 換気量が得られているか否かについては、例えば、換気回数や換気量の計算（大まかでもよいので）を行わないと、何とも言えません。是非、一歩踏み込んで、これらを計算してみてください。ちなみに、 $(\text{流量}) = (\text{断面積}) \times (\text{流速})$ です。
- 9) 高さを決めて、本文中に明記する場合は、どうしてその高さにしたのかを説明して下さい。
- 10) 例えば、分布図には、あとで、色鉛筆で色塗りをするなど、見やすく工夫してください。
- 11) 「割合的に」は、日本語「的に」おかしい。
- 12) 気温を測って見たのであれば、それも分布図を作成し、両者を比較検討すればよいのに・・・。
- 13) 室内の風速は大きすぎても困ります。
- 14) できるだけ、図表の説明（どんな図表か？）や見方を解説して下さい。
- 15) 風向も観察してみれば良かったかもしれません。
- 16) 本来は、機差の調整を行う必要があります。